

令和7年度神奈川県中小企業生産性向上促進事業費補助金

<採択事例>

CASE 14

生産性向上補助金でトラクターを導入し、耕うん作業が効率化しました！

有限会社五領ヶ台ガーデン

事業概要：(業種：農業)

神奈川県平塚市南金目 521 番地

代表取締役：窪田 尊さん

【社長より一言】

当社は、「窪田農園」としてカーネーションの切花栽培からスタートし、現在では花苗や野菜苗などの生産・出荷を行っている会社です。

栽培しているナス、トマト、キャベツ、白菜などの野菜苗やシクラメン、パンジー、インパチェンス、日々草などの花苗と水稻苗を市場流通・市場外流通にて直接販売店へお届けしております。



◆導入した設備

◇トラクター（1台）



◇水稻苗播種機 ハコツミ機付き（1台）



◆生産性向上のねらい

設備導入をしたことで、①作業時間の短縮及び省力化、②生産が追い付かないために発生していた販売の機会損失をなくし受注を増やすこと、③新たなサービスを行うこと、④従業員の負担を軽減させることにつなげていきたいと考えています。

～✍️ 神奈川県取材ノート～

実際に伺わせていただいた際、まず、約 5,000 坪の広大な敷地に並ぶビニールハウスに圧倒されました。これほど多くのビニールハウスで、年間 200 種類以上もの苗を生産・出荷することは、並大抵な苦労ではないと感じました。

また、人手不足や高齢化といった大きな課題を解消するため、人の力と様々な機械の力を上手く融合させながら作業を行っている姿がとても印象的でした。

「働く従業員の負担を軽減したい」という思いから設備を導入したというお話も伺い、そういった思いやりや日々の努力が、立派な野菜苗や綺麗な花苗の生産につながっているのだと感服しました。

●設備導入前の状況

耕うん作業を行うため、年間を通してトラクターを使用していますが、これまでのトラクターの性能では、畑までの移動や作業に多くの時間を要していました。



○設備導入後の状況

今回導入したトラクターは、これまでのものより性能がよく、耕うん作業の効率が向上しました。走行速度や馬力が上がったことで、作業時間を短縮することができます。



◆補助金を申請する前に悩んだ事、大変だったこと

金融機関の方に「県でこんな補助金があるよ」と教えていただいたことが、生産性向上補助金を知るきっかけとなりました。

様々な機械が故障し、使用できなくなっているタイミングでもあったため、申請をすることに決めました。

他の補助金に申請したこともあったため問題なく記載できる部分もありましたが、補助事業計画書の事業収支計算書を記載する際に今後を見据えた計画を立てる必要があり、悩みながらも、商工会議所の方に相談しながら作成しました。

◆補助金を申請してよかった事

まだ設備を導入して間もないところですが、補助金を活用しトラクターを導入したことで、耕うん作業に要する時間を短縮できました。

このことにより、配達サービスの強化や新たなサービスへの事業拡大も可能になります。

また、現在は田植えの時期でないこともあり、播種機とハコツミ機の使用はこれからですが、これらの機械の導入により、1日の生産可能枚数が増加することや従業員の負担が軽減されることを期待しています。



◆最後にひとこと！

トラクターを導入したことで、これまでより広い面積の作業が一度に可能となり、固い土もしっかり耕せるようになったため、作業の効率が向上しました。また、作業時間が短縮することで、より多くの生産・出荷が可能となり、受注の増加が見込めます。ハコツミ機の導入で従業員の負担も軽減できるため、設備を導入することができてよかったと感じております。

今後は、トラクターを活用した耕起・代かきの代行サービスを新たに開始し、高齢化や後継者不足に悩む同業の方々の手助けができるようなサービスに力を入れるなど、事業を拡大していきたいと考えています。

